

労働力調査（詳細集計）

2020年(令和2年)平均

結果の概要

【正規、非正規の職員・従業員】

- 役員を除く雇用者5620万人のうち、正規の職員・従業員は3529万人と、前年に比べ35万人の増加。6年連続の増加。
非正規の職員・従業員は2090万人と、75万人の減少。11年ぶりの減少
- 非正規の職員・従業員について、現職の雇用形態についての主な理由を男女別にみると、男女共に「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最も多く、男性は186万人と、前年に比べ1万人の減少。女性は433万人と、5万人の減少。「正規の職員・従業員の仕事がないから」とした男性は112万人と、3万人の減少。「家計の補助・学費等を得たいから」とした女性は317万人と、10万人の増加

【失業者（失業期間別）】

- 失業者は210万人と、前年に比べ28万人の増加。失業期間別にみると、失業期間が「3か月未満」の者は82万人と、9万人の増加、「1年以上」の者は55万人と、2万人の増加

【非労働力人口（就業希望の有無別）】

- 非労働力人口は4181万人と、前年に比べ8万人の増加。このうち就業希望者は286万人と、44万人の減少
- 就業希望者について、求職活動をしていない理由別にみると、「適当な仕事がありそうにない」とした者は97万人と、前年に比べ1万人の増加

【未活用労働】

- 就業者6667万人のうち、追加就労希望就業者は228万人と、前年に比べ46万人の増加
- 非労働力人口4181万人のうち、潜在労働力人口は44万人と、前年に比べ5万人の増加
- 未活用労働指標の中で、最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標4（LU4）は7.0%と、前年に比べ1.2ポイントの上昇

	実数 (万人, %)			対前年増減 (万人, ポイント)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11057	5337	5720	-12	-5	-7
労働力人口	6877	3820	3056	-20	-6	-14
就業者	6667	3700	2967	-48	-24	-24
うち雇用者	5963	3261	2702	-32	-14	-17
うち役員を除く雇用者	5620	3001	2619	-40	-23	-16
正規の職員・従業員	3529	2336	1193	35	2	33
非正規の職員・従業員	2090	665	1425	-75	-26	-50
【現職の雇用形態についての主な理由別】						
自分の都合のよい時間に働きたいから	619	186	433	-6	-1	-5
家計の補助・学費等を得たいから	395	77	317	8	-4	10
家事・育児・介護等と両立しやすいから	239	7	232	-36	0	-36
通勤時間が短いから	95	27	68	1	1	-1
専門的な技能等をいかせるから	159	78	81	9	-2	11
正規の職員・従業員の仕事がないから	230	112	118	-6	-3	-3
その他	259	135	125	-15	-7	-7
失業者	210	121	89	28	19	9
【失業期間別】						
3か月未満	82	40	42	9	7	2
3か月以上	123	78	46	18	12	8
3～6か月未満	37	20	17	11	7	4
6か月～1年未満	31	19	12	6	5	1
1年以上	55	39	16	2	0	2
非労働力人口	4181	1517	2664	8	1	7
【就業希望の有無別】						
就業希望者	286	87	198	-44	-12	-33
【非求職理由別】						
適当な仕事がありそうにない	97	33	64	1	1	0
出産・育児のため	53	0	53	-17	0	-17
介護・看護のため	16	4	12	-3	0	-3
健康上の理由のため	55	23	32	-11	-4	-6
その他	56	24	32	-13	-8	-6
就業内定者	82	41	41	-1	-1	0
就業非希望者	3798	1382	2416	49	13	36
【未活用労働】						
労働力人口（再掲）	6877	3820	3056	-20	-6	-14
就業者（再掲）	6667	3700	2967	-48	-24	-24
うち追加就労希望就業者	228	80	148	46	27	20
失業者（再掲）	210	121	89	28	19	9
うち完全失業者	191	115	76	26	18	8
非労働力人口（再掲）	4181	1517	2664	8	1	7
うち潜在労働力人口	44	17	26	5	2	1
未活用労働指標1（LU1）（%）	3.1	3.2	2.9	0.5	0.5	0.3
未活用労働指標2（LU2）（%）	6.4	5.3	7.8	1.1	1.2	1.0
未活用労働指標3（LU3）（%）	3.7	3.6	3.7	0.5	0.6	0.3
未活用労働指標4（LU4）（%）	7.0	5.7	8.5	1.2	1.3	1.0

未活用労働に関する用語の定義（詳細は、「未活用労働指標の解説」（<https://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/mikatuyok.pdf>）

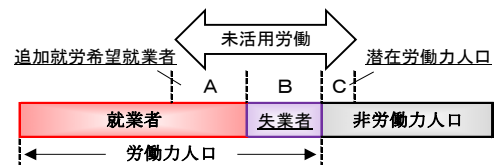
追加就労希望就業者：就業時間が週35時間未満で、就業時間の追加を希望しており、追加できる就業者（下図A）

失業者：就業しておらず、1か月以内に求職活動を行っており、すぐに就業できる者（下図B）

（「完全失業者」とは、「失業者」のうち1週間以内に求職活動を行った者）

潜在労働力人口：就業者でも失業者でもない者（非労働力人口）のうち、以下のいずれかの要件を満たす者（下図C）

- 1か月以内に求職活動を行っており、すぐではないが2週間以内に就業できる者（拡張求職者）
- 1か月以内に求職活動を行っていないが、就業を希望しており、すぐに就業できる者（就業可能非求職者）



未活用労働指標1（LU1）：失業者÷労働力人口×100

未活用労働指標2（LU2）：（失業者+追加就労希望就業者）÷労働力人口×100

未活用労働指標3（LU3）：（失業者+潜在労働力人口）÷（労働力人口+潜在労働力人口）×100

未活用労働指標4（LU4）：（失業者+追加就労希望就業者+潜在労働力人口）÷（労働力人口+潜在労働力人口）×100